

学校における業務改革プラン(業務量管理・健康確保措置実施計画) 概要

●概要

- ・社会の劇的な変動により学校を取り巻く環境が複雑化・多様化
- ・子どもが予測困難な社会を生きていくことができるよう、学校教育の改善・充実の必要性
- ・対応すべき様々な課題の発生により、教職員に求められる業務の質が変化し、量も増大
- ・教職員の心身の負担、教育活動の質の低下や教職そのものの魅力の低下が懸念

- ・学校における業務改革を加速度的に進めていく必要性
- ・業務の削減・精選等を図り、授業やその準備等の時間を確保出来る環境の整備
- ・教職員のウェルビーイングの追求(教職員の心身の健康の保持増進)

- ・働きやすさと働きがいの両立
- ・より質の高い教育を実現

●本県の状況

- ・時間外在校等時間は、全体としては減少傾向(高校では3割以上の教員が月45時間超)
- ・部活動指導や校務分掌業務が高い割合
- ・精神疾患による特別休暇等が全ての校種で増加(特支では継続的に高い傾向)

●目標指標

令和10年度に目指す姿

区分	職員の働きがい	時間外削減	健康確保措置
目標指標	自身の仕事に働きがいを感じている教員の割合 児童生徒と向き合える「授業」の時間は楽しいと感じている教員の割合	時間外在校等時間が月当たり45時間を超える教員の割合	1年間における教員の時間外在校等時間の1箇月平均時間 精神疾患による30日以上の特別休暇及び休職者の在職者比率 年次有給休暇の年間平均取得日数
目標値(R10)	100%	100%	0% 30時間以下 1.1%以下 16日

●対象期間

- ・令和8年度から令和10年度までの3年間

●これまでの策定

- ・平成31年2月初版策定(令和4年3月改定)

●進捗管理

- ・「学校対象調査」や各所管課の調査で進捗状況等を把握し、評価実施
- ・評価結果は、次年度の施策や予算等へ反映できるようHPで公表
- ・進捗状況と評価を総合教育会議に報告

●各取組と活動指標

目標を達成するため、取組を5つに分類

進捗管理のため、各分類毎に活動指標を設定

1 人的資源の配置・活用	2 業務量の削減	3 業務の効率化	4 地域・家庭、関係機関等との連携・協働	5 健康及び福祉の確保に関する措置
ア 教職員定数等の改善 イ 支援スタッフの充実	ア 学校行事・業務の精選等 イ 調査等の見直しと教員研修の活用	ア 総務事務集中化・事務職員の校務運営参画 イ 校務DX(ICTの活用) ウ 業務効率化の好事例の横展開	ア コミュティ・スクールの導入・強化等 イ 効率的な部活動の推進 ウ 関係機関との連携	ア 時間外在校等時間の長時間化のは是正 イ 健康管理の実施 ウ 柔軟な働き方の環境整備

活動指標	活動指標	活動指標	活動指標	活動指標
教職員人材バンクの登録者数 	学校行事、職員会議、校内研修等の精選・見直しに取り組んだ学校の割合 	校務分掌、部活動等の統廃合による校務の整理に取り組んだ学校の割合 	コミュニティスクールの機能を發揮・強化している学校の割合 	完全退学時刻を20時以前に設定する県立学校の割合 (定時制を除く) ストレスチェック受検率
2,000人	100% 30%	100%	100%	100% 100% 33市町